

## ステークホルダーの信頼を裏切った事実を背負い あらゆる取り組みを全力で推進する「信頼回復プロジェクト」発足

一連のエンジン認証不正問題に伴い、お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様に対して、様々なご迷惑やご心配をお掛けしていることをあらためて深くお詫び申し上げます。

皆様からの信頼を裏切ってしまった事実、「日野はもはや存在意義がない」といった社会からの評価を重く受け止め、皆様のご迷惑やご心配の一つ一つに対して、全社で死に物狂いとなって一刻一刻の時間感覚で動いております。このたび、この活動を全社レベルで展開すべく、また二度と今回のような事態を引き起こさないため、あらゆる取り組みを全力で推進する「信頼回復プロジェクト」を発足させました。日野のこれからを担うマネジメント層と中堅層による社長直轄チームが主導し、皆様のご迷惑やご心配に真摯に向き合うとともに、日野がすべきことを時々刻々と判断し行動していく所存です。ステークホルダーの皆様のご迷惑やご希望に沿わない点があるやもしれませんが、その際はぜひ厳しくご指摘ならびにご指導を賜ればと考えております。

「信頼回復プロジェクト」の取組み		
<b>ご迷惑の最小化</b>		
<b>■お詫びと説明</b> ・真摯かつ丁寧なお詫びと説明	<b>■償い/支援</b> ・ご迷惑への補償、事業継続支援	<b>■ご迷惑最小化</b> ・お客様の稼働維持、迅速なリコール
<b>更なるご迷惑を生まない仕組みづくり</b>	<b>更なるご迷惑を生まない風土づくり</b>	
<b>■ 開発・品質・認証</b> ・開発プロセス再構築 ・法規認証プロセス見直しの継続 ・品質マネジメントシステム再構築	<b>■ 風土改革（人財尊重）</b> ・人づくり重視の全員経営(人事制度改革、経営情報開示) ・皆でお客様に向き合うクルマづくり(組織体制見直し) ・健全に意見を話し合う風土づくり(パワハラゼロ活動)	
<b>■ 「正しい仕事」</b> ・コンプライアンスファーストの風土・仕組みづくり ・業務マネジメント改革	<b>■ 「正しい仕事」</b> ・不正を理解し、風化させない仕組みづくり	
<b>■ 経営体制・組織体制</b> ・部署間の壁をなくす組織体制 ・権限移譲		
<b>厳しい状況乗り越えるために</b>		
<b>■ 事業再構築</b> ・守るべきこと、やめるべきことを決め実行		

本日、具体的な取り組み事例として「パワハラゼロ活動」を立ち上げました。[\(別途公表\)](#)

また、製品の品質への信頼性を確保しお客様にご安心いただくため、今後、小型トラック用エンジンに関して、認証業務についてトヨタにさらなる協力を依頼するなどトヨタとの連携をより深めていくことを相談してまいりたいと考えております。

お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様にご多大なるご迷惑をおかけし、いただいていた信頼を裏切ってしまった事実を大変重く受け止め、あらためて深くお詫び申し上げます。

以上